

元気アップ通信

2015年7月15日 第43号

1・2年生対象「朝の読み聞かせ」

十三中学校では、平成25年度より地域の読み語りグループを中心としたボランティアさんにご協力いただき、毎月第2木曜日（学校行事により変更アリ）に「朝の読み聞かせ」をおこなっています。『中学生にもなると読み聞かせは必要ないのでは？』と感じる方もいらっしゃるかも知れませんが、読んで頂く作品は読み手の方によって様ざまで。絵本だけでなく、小説、詩集、古典、新聞記事、日本各地の民話や大阪の昔話を“姿語り”して下さるメンバーもいらっしゃいます。

7月9日の読み聞かせ終了後は、十三中学校図書室にてボランティアさんとの意見交換会を行い、読み聞かせして頂いた後に「この本は図書室にあるから読みに行ってみたら？」など、声掛けいただけるように蔵書リストをお渡しました。朝の読み聞かせの時間から、少しでも物語の世界や社会に関心を示したり、今まで図書室に足が向かなかった人に興味を持ってもらえれば嬉しいです。



写真左から

後列：垣井さん・地域C池上・一瀬さん・奥野さん・辻川さん
前列：上垣さん・小野さん・平出さん

ボランティアさんに「読み聞かせ」について、メッセージをお願いしました。ご紹介します♪



一日の一歩
「集中して人の話を聞く」につながったら嬉しいなあ～と。
辻川松子さん

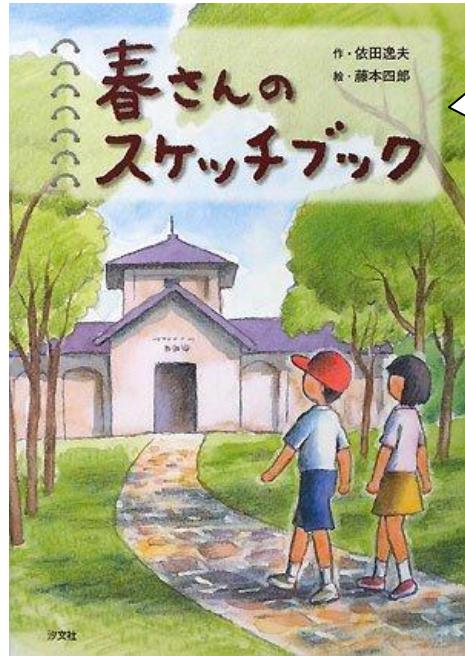
10分間は短くて「読む本」を探すのに苦労します。色々と学校の都合もあると思いますが、月に1回のことですので、あと2~3分は時間があればといつも思います。「速く話す」ばかりになりがちで、いつも反省していますが、願わくば「もう少し時間を！」



平出雄子さん

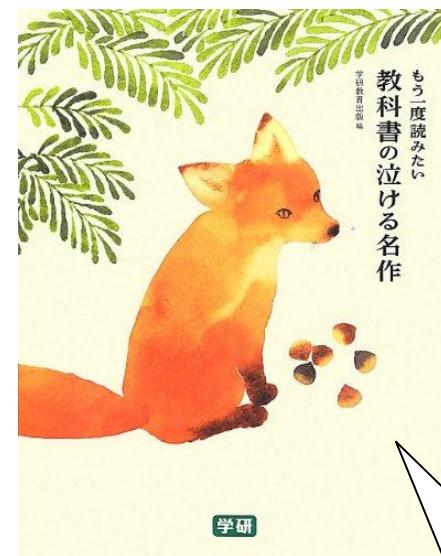


裏面に
つづきます



この選定に悩みます。とは言いましても、私の場合、過去の読み聞かせに於いては、学年別に同じ本を読んできました。私としては、自分が何かしら感動したものを、学生さんに伝えたいとの強い思いでやらせて頂いています。という事は、理数系の本よりは、小説や隨筆的なものが好きです。読み手の好き嫌いだけで通すのはどうかという方もおられるようですが--。兎も角、元気・勇気・善悪の判断・前向きな強い心を養ってくれれば嬉しいです。

一瀬正照さん



中学生の1年生と2年生は、1才違い以上の年齢差があると思います。読む本を選ぶ時に考えます。読み手は、たった1人でも興味を持ってくれることを願っています。

奥野 翠さん
小野佳子さん

【アジサイ／椋鳩十】

は、上の本に収録されています。他、収録作品
収録作品は

【ごん狐／新美南吉】
【かわいそうなぞう／土家由岐雄】
など、多数。

朝の時間 ほっこりする
本を読んで一日の始まりに
なればと思います。

片岡美津子さん

今は、他のメンバーに譲って専ら巡回して見守っているが、興味持たせ、具体的に「大型休みに取り組むように」と促すと、反応あったのが良かった。皆が「夏休みに取り組む」であった。将来、必ず役立ち、学ぶことだろう事確信しているので。又、譲った効果は出て居り、嬉しい。

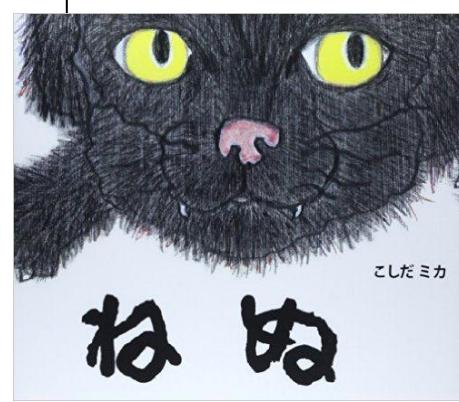
上垣稔さん



毎回どんな本を読むか悩みます。中学生の皆さんとは、マンションのエレベーターで出会うくらいで、まったくお付き合いがなかったのですが、毎月「朝の読み聞かせ」に伺うようになって、少し私の気持ちも変わったように思います。親しみを持ってみると、自分の子どもの頃とあまり違わないような気がしてきました。

絵本を手にするのも久しぶり、悩みながらも、いつの間にか私の楽しみになっています。

中学生の皆さん、どうぞよろしく！



垣井由紀子さん